

『数理法務のすすめ』

(ISBN 978-4-641-12588-9)

2016年11月1日

初版第一刷 正誤表

該当頁	訂正内容
ii	脚注 1)から「(巻末の参考文献参照)」を削除する。
10	脚注 9) 4行目の「推移性」を「連続性」に改める。
12	(b)式の1行上の「 ϕ 」を「 \emptyset 」に改める。
24	2行目の「検査官」を「検察官」に改める。
26	(1.10)式の1行上の「消却」を「消去」に改める。
31	1行目の「collage」を「college」に改める。
37	12行目末尾の「 $p(A)=$ 」を削除する。
46	8行目の「消却」を「消去」に改める。
52	図 2-2 の「請求認定」を「請求認容」に改める。
65	脚注 19) 3行目の「縦軸に」を「縦軸は」に改める。
68	文章部分(「上式のうち」ではじまる部分)2行目の「 $U_b < U_c$ 」を「 $U_b > U_c$ 」に改める。
75	下から4行目および下から2行目にある「関数」をいずれも「変数」に改める。
79	脚注 7) 1行目の「確率密度関数 $f(x)$ 」を「期待値」に改め、2行目の「 $f(x)$ 」の前に「確率密度関数」を加える。 脚注 7) 7行目の「 x 」を「 X 」に改める。
80	脚注 7)(前頁からの続き)(a)式に続く部分の2行目の「 x 」と(c)式に続く部分の3行目の「 x 」をいずれも「 X 」に改める。
91	表の3段目の「 $1/\sqrt{2}$ 」を「 $-1/\sqrt{2}$ 」に改める。
92	ONE MORE STEP 3-3 の(a)式の括弧書きの中を「 $x=1, \dots, n$ 」を「 $x=0, 1, \dots, n$ 」に改める。
110	最初の式の値を「1.73」から「3.72」に改め、その後の3行を次の様に改める。「 z 値 3.72 に対応する p 値は 124 頁の標準正規分布表にのっていないほど小さな値である。したがって帰無仮説は棄却できることが明らかとなった。」
113	2つ目の計算式の後の2行目の「0.1867%」の「%」を取る。 【問題 3-3】を【問題 3-4】に改める(2カ所)。
127	5行目の「犯罪額」を「被害額」に改める。
137	ONE MORE STEP 4-2 の2行目の「 $W = aX + aY$ 」を「 $W = aX + bY$ 」に改め、その直後の数式の1行目の「 $E(W - \mu w)^2$ 」を「 $E[(W - \mu w)^2]$ 」に改める。
141	(4.5) 式を「 $y = \alpha + \beta x$ 」に改める。
163	2行目の「性別により」を「性別による」に改める。
165	(f)式の2つの縦ベクトルの間に「 $=$ 」を挿入する。
183	(5.9)式の下5行目にある「(すなわち R_x と R_y が正比例する場合)」を「(すなわち R_x と R_y が完全なプラスの相関関係にある場合)」に改める。
184	5行目の「(すなわち R_x と R_y が反比例する場合)」を「(すなわち R_x と R_y が完全なマイナスの相関関係にある場合)」に改める。 最初の数式の一番右の項にある a を a^3 に改める。
201	(5.16)式の中の「 μ_1 」を「 μ 」に改める。
233	1行目の「Fisher」を「Fischer」に改める。
239	3行目の「リスク中立的確率」を「リスク中立確率」に改める。
252	注 4) 3行目の「税引後利息」を「税引後利益」に改める。
267	1行目「消却」を「消去」に改める。
268	脚注 32) の1行目の「消却」を「消去」に改める。
275	注 40) 1行目の「会社更正法」を「会社更生法」とし、同3行目の「債務者」を「債権者」とする。
322	脚注 114)(前頁からの続き)の2行目の「Andreoni(1989), ③」を削除し、3行目の「④」を「③」に、「⑤」を「④」に改める。